

令和2年度 福岡県立直方高等女学校・直方高等学校

陵江会 総会

煌

あかり

～ 煌めく伝統の聖火～



令和2年5月10日(日)に開催を予定しておりました「令和2年度陵江会総会」は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に鑑み、皆様の健康・安全面を第一に考慮させていただき協議を重ねました結果、例年通りの集い形式から急遽ではありますが(1)文書(2)ホームページによる陵江会総会に変更実施させていただくこととなりました。

今年度の当番幹事をさせていただきました私共も皆様とお会いできる日を楽しみに先輩方からのバトンを引き継ぎ1年かけて準備させていただきました。

そのため、昨年から先生方の寄稿をお預かりいたしておりましたので、当総会冊子に掲載させていただきました文章の内容が現時点の新型コロナウイルスを巡る状況が日に日に厳しさを増していく中で、東京五輪・パラリンピックをはじめとした各種イベントも延期・中止となっているような社会状況と相違する点がございます。

何卒ご了承のほど宜しくお願いいたします。

令和2年5月

令和2年度陵江会総会実行委員会

令和2年の母校を巡る



現在の正門



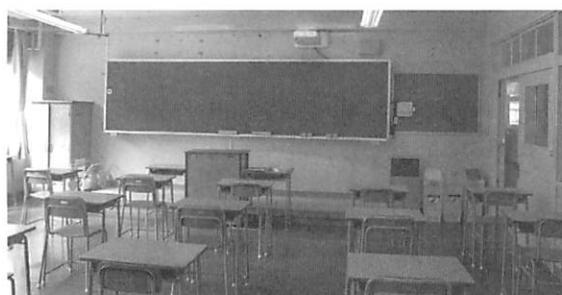
100周年記念碑



今年度のスローガン「Be Active」



校舎内中央ホール



現在の教室プロジェクター完備



新しいトイレ



体育館



家庭科室

◇福岡県立直方高等学校校歌

作詞 火野 葦平
作曲 古関 裕而

一、遠賀のながれ清くして

日若の森にみどり濃く

自由の光そそぎ入る

古き歴史の学び舎に

若き生命の薫るかな

筑豊の野にそびえたつ

直方高校

ああ われらが母校

二、雄々しく登る六ヶ岳

やさしく摘むや庭の菊

希望と夢を胸に抱き

青春の日をうつくしく

まことの愛に生きんかな

筑豊の野に花と咲く

直方高校

ああ われらが母校

三、仰ぐ福智のいただきに

高き理想の雲青し

世紀を創る若人の

心にもゆる焰もて

世の荒波を超えんかな

筑豊の野に魂みがく

直方高校

ああ われらが母校



昭和58年 《直方高舎》

◇ 福岡県立直方高等女学校校歌

詩 野口 雨情
 曲 藤井 清水
 編曲 青山 幹雄

一、日若の森の若緑

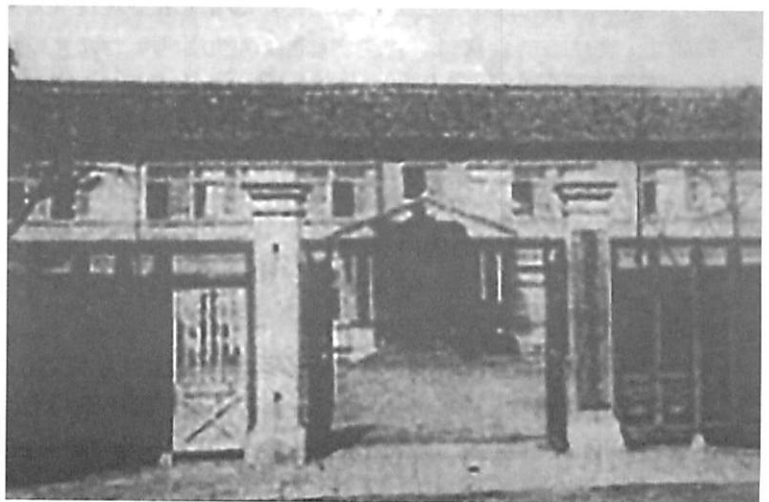
清き流れの遠賀川
 明けゆく星の影さへも
 森に流にやどるらむ。

二、わが学びやの窓ちかく

けだかき姿福智山
 行きかふ空の青雲あおくもは
 神代かみよも今も変わりなし。

三、楽しからずや友柄ともがらと

登るに易き六ヶ岳
 共に励みて御詔勅みおしえを
 日々にかしこみ学びなむ。



大正12年 《校舎正面》



令和2年度陵江会活動について

直方高等学校同窓会

陵江会会長 上川 明

日頃より陵江会会員の皆様には、当会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染が、日本国内でも徐々に拡大の一途をたどっております。

母校、直方高校におきましても、令和元年度の卒業証書授与式を縮小するなど、異例の措置がなされました。

全国的に感染の危機管理が迫られる状況下において、5月の総会をはじめ同窓会活動が新型コロナウイルスのクラスター感染源となり、会員は勿論のこと、そのご家族、地域の方々にも感染する事態は、極力避けなければなりません。

当番幹事である高校49回、28回生は、5月の総会に向け、令和元年6月より準備を約10ヶ月にわたり進めておりました。例年であれば、総会についての具体案を2月の拡大幹事会にて報告するところでありましたが、1月末よりの新型コロナウイルスに関する状況の急変、悪化から、陵江会活動、特に5月の陵江会総会の実施の可否について、協議を重ねなければなりません。

度重なる協議の末、苦渋の決断でしたが、国・各都道府県の対応を鑑みしました結果、会員、関係者の健康を第一に考え、断腸の思いで、5月10日に陵江会会員が集う通常の陵江会総会は、感染防止のために中止といたしました。しかし、新聞広告、陵江会総会記念誌、総会議事、陵江会報は、例年通り発行いたします。また、ホームページを作成し、ホームページと誌面を使った例年とは違った総会の実施を考えております。この状況から、大人数が集まった総会は、今のところ、出来ませんが、できる限りの同窓会総会を計画します。何卒、ご理解下さり、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

また、今後状況が回復し、新型コロナウイルスからの安全が認められれば、その時点で、可能であれば同窓生の集いを計画します。その際は、代表幹事を通して連絡いたします。

また、今後の幹事会、支部活動行事等の開催について、地域の事態の状況を把握しながら判断し、会員に周知してまいります。

会員の皆様におかれましては不要不急の外出は控えていただくとともに、マスクの着用など、自己体調管理にお努めいただきますようお願い申し上げます。

会員各位には当該状況をご理解いただき、今後の同窓会活動に更なるご支援をいただきませう切にお願い申し上げます、ご連絡といたします。



校長挨拶

直方高等学校

校長 田中 浩子

陵江会の皆様には、日頃から本校の教育活動充実のために物心両面からのご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

この度『燈(あかり)～煌めく伝統の聖火～』のテーマのもと、令和2年度陵江会総会が盛大に開催されますことに心からお祝い申し上げます。

また、昨年度は学校創立110周年に係る10月11日(金)の記念式典および記念講演会をはじめ、記念事業に関して多大なるご高配を賜り誠にありがとうございました。

令和2年度の人事異動で、第35回生でもあり3年間に渡り教頭・副校長として本校のために尽力していただいた旭副校長が福岡魁誠高校の副校長として転出しました。後任には稲築志耕館高校から北村副校長が転入しました。私と末吉教頭は、母校で校長および教頭をそれぞれ継続して努めさせていただくこととなりました。本年度も、学校創立111年目となる直方高校のさらなる発展に向けて、生徒と教職員が一丸となり教育活動に励んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、母校の現状を紹介いたします。4月に第75回生となる新1年生が入学し、543名の生徒が日々の勉強と部活動に精一杯頑張っております。今年3月に卒業した第72回生の進路状況のうち、進学では北九州市立大学に4名、早稲田大学、明治大学、青山学院大学、同志社大学、関西学院大学等に合格しました。この進学実績は、在校生にとりましても大きな励みとなっています。

部活動の方では、陸上部(個人)、水泳部(個人)がそれぞれ九州大会の出場を果たしました。また、全国高等学校体育学科・コーススポーツ大会においては、男女ともにバレーボール部が準優勝を飾りました。文化部では、写真部(個人)の作品が今年8月の全国大会に出品されることになっています。

その他、部活動に入部していない生徒たちも様々なコンクールやコンテストに積極的に参加し、素晴らしい成果を取ってくれています。外務省等が主催する「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」に参加した生徒は、福岡県代表に選ばれて全国大会に出場し優秀賞を受賞しました。

さらに、運動部活動に所属し勉強との両立が容易ではない環境にある生徒が、合格率15%と言われる難易度の高い実用英語技能検定準一級に見事に合格しています。

施設・設備や活動時間が十分とは言えない中で、生徒と職員が一緒になって心身に汗を流している姿は、まさしく文武両道の校風からなるものであり、今後もこれを継承し、学校活性化に向けて一層尽力したいと考えております。

おわりに、陵江会の発展と会員の皆様のますますのご健勝を心から祈念しますとともに、本校の教育活動に対しまして変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。



関東陵江会だより

関東陵江会

支部長 増田和彦

2020年度陵江会の開催、心よりお慶び申し上げます。

今年のテーマ『燈(あかり)～煌めく伝統の聖火～』に掲げられて、総会の準備をされた当番幹事の皆様、大変御苦労様でした。

会長に任命され、初年度が無事に終える事が出来ました。この1年間で陵江会ならびに関係者の皆様に御指導・御支援頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。

今回のテーマの聖火といえば、オリンピックです。今年は御存じの通り、東京オリンピックの年です。徐々にですが、東京も盛り上がっております。新国立競技場にも行きましたが、素晴らしい競技場で世界各国の方をおもてなしできる環境になっております。

国際化が進んできて、歩いていても日本語でない言葉が複数聞こえてきます(筑豊弁はなかなか聞けないのが残念です)。

先日東京福岡県人会同窓会交流会が開催され、各高校同窓会から福岡愛・母校愛・同窓愛の熱い思いを頂き、関東陵江会もさらなる邁進をして参ります。

11月24日土曜日、会場はいつも『グランドアーク半蔵門』で関東陵江会(陵江会関東支部)総会を開催致します。

今年は関東でも49回生が頑張ってくれそうで、イベントも計画中です。ありがとうございます。関東陵江会も『燈』を照らし続けるように、若い方も楽しめるようにしていきます。関東在中の直高同期の方へ参加のお声掛け宜しく御願い致します。

今年度も関東陵江会は切削琢磨していく所存でございます。

最後になりましたが、今年度の幹事、高校28回生49回生50回生の皆様、総会への御尽力は感謝致します。

陵江会並びに直方高校の発展と会員の皆様のご多幸とご活躍を心からお祈りし、御挨拶とさせていただきます。



関西陵江会だより

関西陵江会

支部長 梅田 茂

令和2年度陵江会総会「燈(あかり)～煌めく伝統の聖火」が盛大に開催されることを心よりお慶び申し上げます。直方を離れ関西に生活基盤を置く私達は、地元直方を忘れることのないよう支部活動の活性化に努めています。支部の草創期は4～10回生を中心に80名前後の先輩諸氏が集ったと聞いております。本部同様当番制で幹事が総会の運営を担っていました。直方高校の同窓という縁だけで、盛り上がっていました。そういった先輩諸氏も高齢化し、退会の便りをいただくようになりました。しかしながら諸先輩から受け継いできた伝統を未来へ繋ぐ為にも、我々役員一同話し合いを進めています。

さて、関西陵江会は今年も「ホテルヴィスキオ尼崎」で6月20日(土)に開催します。数えて42回目となります。今回は27～48回生4名が新規入会してくれました。時節柄、個人情報簡単に入手出来ない昨今ですが、我々役員にとっては朗報でした。引き続き地元直方、恩師の協力を仰ぎながらコツコツではありますがやっていきたいと考えています。昨年の役員忘年会は大阪の下町、天神橋筋3丁目の長い商店街の居酒屋で行いました。相変わらず集まれば筑豊弁丸出しの聲が飛び交います。この声がある限り「関西支部」の存在は大丈夫と確信しています。まさに校訓の「礼節・努力・理想」が脈々と流れる関西支部でありたいと思っています。今年度のゲストは高校49回生であります。ソプラノ歌手・ボイストレーナーの野上結美さんを招く予定です。4オクターブ半の素晴らしい美声の持ち主で、直方市の公式PRソングも歌って幅広く活躍されています。盛り上がること間違いなしと思っています。

ここ4・5年の支部活動は会員の動向、本部総会で得た情報の分析をもとに一人ひとりの繋がりを大切にしたいと思っています。関西で活躍する会員諸氏は同郷・同窓という一点だけで何でも話せて、いつでも助け合える場を提供できる支部を目指して、役員一同一致団結して活性化を図っていきたくて考えております。

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。

◇ 学校の概要 ◇

◆ 名称と所在地

名称 福岡県立直方高等学校
 課程 全日制普通科15学級(普通科一般12、スポーツ科学コース3)
 所在地 福岡県直方市頓野3459-2

◆ 沿革

本校は明治42年4月、県立高等女学校として鞍手郡直方町日吉に3学級の規模で開校した。
 創立当初から県立として設けられたのは、県下の高等女学校の中で本校が最初であった。
 昭和24年8月31日付教育委員会告示により福岡県立直方高等学校となり、昭和31年8月、現在地に移転した。
 現在15学級、生徒数559名である。

● 福岡県立直方高等女学校時代

明治41年〔1908〕 3月 9日 文部省告示第72号をもって、明治42年4月から開校認可
 〃 42年〔1909〕 4月 24日 創立記念日、第1回入学式を挙行(第1学年100名、第2学年50名)
 昭和3年〔1928〕 5月 13日 後援会設立
 〃 9年〔1934〕 10月 30日 創立25周年記念挙行、創立25年沿革刊行(陵江27号)

● 福岡県立直方高等女子学校時代

昭和23年〔1948〕 4月 1日 学制の改革により福岡県立直方女子高等学校と改称
 〃 〃 〃 11月 5日 創立40周年記念式挙行

● 福岡県立直方高等学校時代

昭和24年〔1949〕 8月 31日 教育委員会告示32号により福岡県立直方高等学校と改称
 〃 27年〔1952〕 2月 26日 新校歌制定
 〃 29年〔1954〕 8月 5日 全日本高校男子排球選手権大会優勝
 〃 34年〔1959〕 10月 31日 創立50周年記念式、移転改築竣工祝賀式挙行
 創立50周年史編集発行
 〃 37年〔1962〕 8月 6日 全日本バレーボール高校男子選手権大会準優勝
 〃 45年〔1970〕 10月 1日 創立60周年記念式挙行、創立60周年誌刊行
 〃 49年〔1974〕 3月 31日 春の全国高等学校バレーボール大会準優勝
 〃 〃 〃 8月 5日 全日本バレーボール高校男子選手権大会準優勝
 〃 52年〔1977〕 8月 6日 全日本バレーボール高校男子選手権大会準優勝
 〃 54年〔1979〕 5月 19日 創立70周年記念式挙行、体育館落成記念式挙行
 〃 59年〔1983〕 3月 31日 春の全国高等学校バレーボール大会準優勝
 〃 59年〔1984〕 8月 4日 第32回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会
 文部大臣賞(第1位)受賞
 〃 61年〔1986〕 4月 1日 本年度入学生から普通科9学級のうち体育コース1学級設置
 〃 63年〔1988〕 9月 17日 水泳(平泳ぎ)ソウルオリンピック出場 平山周一
 平成元年〔1989〕 4月 1日 本年度入学生から普通科9学級のうち英語コース1学級設置
 〃 〃 〃 〃 〃 校訓「礼節、努力、理想」を制定
 〃 〃 〃 10月 7日 創立80周年記念式、校舎全面改築落成式典挙行 80周年写真集「陵江」刊行
 〃 8年〔1996〕 7月 20日 水泳(平泳ぎ)アトランタオリンピック出場 宮崎健伸
 〃 11年〔1999〕 10月 16日 創立90周年記念式典、記念講演挙行
 創立90周年記念誌「陵江」刊行
 〃 16年〔2004〕 6月 8日 教室等、冷暖房設置
 〃 17年〔2005〕 4月 1日 体育コースをスポーツ科学コースへ改編
 〃 19年〔2007〕 3月 30日 管理棟耐震改修工事竣工
 〃 〃 〃 3月 31日 英語コース閉コース
 〃 21年〔2009〕 2月 20日 自転車道場設置
 〃 〃 〃 5月 3日 鍋堂(蕉陶堂)耐震改造
 〃 〃 〃 5月 13日 鍋堂(蕉陶堂)ステージ観音寄付受納
 〃 〃 〃 8月 17日 学生会館(陵江会館)寄付受納
 〃 〃 〃 9月 29日 家庭科棟(雨村館)改築
 〃 〃 〃 10月 10日 創立百周年記念式典 記念講演 弁護士 北村嗣男氏
 記念誌「百年史陵江」刊行
 〃 22年〔2010〕 2月 メモリアルロード竣工(正門拡張・記念碑建立)
 〃 23年〔2011〕 2月 28日 教室棟大規模改修工事竣工
 〃 〃 〃 4月 1日 本年度入学生から1学級減(普通科6学級)
 〃 24年〔2012〕 2月 13日 体育館大規模改修(耐震補強)工事竣工
 〃 27年〔2015〕 2月 27日 鍋堂(蕉陶堂)他吊天井改修工事竣工
 〃 28年〔2015〕 2月 27日 特別教室棟大規模改修工事竣工
 〃 28年〔2016〕 4月 1日 本年度入学生1学級減少(5学級)
 〃 29年〔2017〕 3月 17日 視聴覚棟内部改造工事竣工
 〃 30年〔2018〕 8月 10日 全普通教室にプロジェクター整備
 〃 30年〔2018〕 8月 31日 管理教室棟他大規模改修工事竣工
 〃 30年〔2018〕 9月 無線LAN(Wi-Fi)整備
 〃 30年〔2018〕 12月 28日 コモンホール吊天井改修工事竣工

(令和2年 3月現在)

直方高等女学校	明治44年～昭和22年	5,466名
直方高等女学校 補習科	大正2年～昭和17年 昭和13年～昭和17年	48名 140名
直方高等女学校 専攻科	昭和5年～昭和12年 昭和18年～昭和22年	179名 222名
直方女子高等学校	昭和23年のみ	20名
併置中学	昭和23年～昭和24年	535名
直方高等学校	昭和24年～令和元年	23,115名
総計	(上記はすべて年度)	29,725名

◇ 歴代校長系譜 ◇

	氏 名	就退任年月日	学 校 名
初代	中 村 能 道	明治42. 3. 31 ~ 明治44. 7. 22	直方高等女学校
2代	吉 田 豊	明治44. 7. 22 ~ 大正3. 3. 6	〃
3代	山 下 房 吉	大正3. 3. 6 ~ 大正8. 3. 25	〃
4代	浅 川 雄太郎	大正8. 3. 25 ~ 大正12. 12. 10	〃
5代	太 田 光 次	大正13. 2. 26 ~ 昭和2. 6. 27	〃
6代	大 島 六太郎	昭和2. 6. 30 ~ 昭和3. 9. 1	〃
7代	武 田 福 次	昭和3. 9. 3 ~ 昭和5. 5. 22	〃
8代	立 石 仙 六	昭和5. 6. 5 ~ 昭和7. 3. 31	〃
9代	山 本 通	昭和7. 4. 6 ~ 昭和11. 3. 31	〃
10代	小林 大右衛門	昭和11. 3. 31 ~ 昭和17. 7. 7	〃
11代	松 尾 秀 雄	昭和17. 7. 7 ~ 昭和19. 3. 31	〃
12代	武 田 赴	昭和19. 3. 31 ~ 昭和21. 3. 31	〃
13代	加 茂 三 郎	昭和21. 3. 31 ~ 昭和25. 3. 31	直方高等女学校・直方高等学校
14代	田 崎 敬 一	昭和25. 3. 31 ~ 昭和27. 3. 31	直方高等学校
15代	竹 内 信 夫	昭和27. 4. 1 ~ 昭和31. 5. 15	〃
16代	永 富 保 元	昭和31. 5. 16 ~ 昭和38. 4. 17	〃
17代	石 坂 繁	昭和38. 4. 18 ~ 昭和41. 4. 5	〃
18代	大 庭 泰 久	昭和41. 4. 6 ~ 昭和43. 5. 24	〃
19代	田 中 榊 雄	昭和43. 5. 25 ~ 昭和46. 3. 31	〃
20代	松 尾 英 二	昭和46. 4. 1 ~ 昭和50. 4. 2	〃
21代	池 邊 義 人	昭和50. 4. 3 ~ 昭和50. 9. 25	〃
22代	吉 開 和 男	昭和50. 11. 5 ~ 昭和53. 3. 31	〃
23代	林 隆 恵	昭和53. 4. 1 ~ 昭和55. 3. 31	〃
24代	山 倉 三千男	昭和55. 4. 1 ~ 昭和57. 3. 31	〃
25代	山 近 博 幸	昭和57. 4. 1 ~ 昭和59. 3. 31	〃
26代	亀 谷 陽 三	昭和59. 4. 1 ~ 昭和62. 3. 31	〃
27代	時 枝 末 六	昭和62. 4. 1 ~ 平成元年. 3. 31	〃
28代	八 田 彰	平成元年. 4. 1 ~ 平成3. 3. 31	〃
29代	秋 吉 誠 治	平成3. 4. 1 ~ 平成4. 3. 31	〃
30代	緒 方 健	平成4. 4. 1 ~ 平成6. 3. 31	〃
31代	中 村 昌 生	平成6. 4. 1 ~ 平成10. 3. 31	〃
32代	山 内 則 季	平成10. 4. 1 ~ 平成13. 3. 31	〃
33代	岡 部 勝	平成13. 4. 1 ~ 平成17. 3. 31	〃
34代	木 下 忠	平成17. 4. 1 ~ 平成20. 3. 31	〃
35代	吉 永 俊 嗣	平成20. 4. 1 ~ 平成24. 3. 31	〃
36代	上 川 明	平成24. 4. 1 ~ 平成28. 3. 31	〃
37代	吉 永 雅 弘	平成28. 4. 1 ~ 平成29. 3. 31	〃
38代	吉 丸 昌 明	平成29. 4. 1 ~ 平成31. 3. 31	〃
39代	田 中 浩 子	平成31. 4. 1 ~	〃

令和元年度 部活動成績(4月～2月)

◆団体成績◆

部活動名	大会名	地区大会	県大会	九州大会
バレー(男子)	九州大会予選インターハイ予選	優勝	ベスト8	
	天皇杯・皇后杯		準優勝	
	全日本バレーボール選手権大会	優勝	ベスト16	
	福岡県高等学校新人バレーボール大会	優勝	ベスト8	
バレー(女子)	九州大会予選インターハイ予選	第2位	ベスト8	
	全日本バレーボール選手権大会福岡県ラウンド	第2位	ベスト8	
	新人大会	第2位	ベスト8	
バスケット(男子)	九州大会予選(兼)インターハイ予選	優勝	ベスト8	
	ウインターカップ	免除	ベスト10	
	新人大会	第3位	出場	
サッカー	新人大会	第3位	出場	
弓道(男子)	九州大会予選インターハイ予選		出場	
	新人大会	第2位	出場	
弓道(女子)	新人大会	優勝	出場	
剣道(男子)	新人大会	第5位	出場	
柔道(女子)	インターハイ予選	優勝	出場	
	新人大会	第2位	出場	
硬式野球	九州地区高校野球	福岡北部 5回戦敗退		
	宮若市長旗親善高校野球大会	優勝	出場	
陸上競技(男子)	インターハイ予選	トラック3位		
		総合3位		
陸上競技(女子)		トラック2位		
		総合2位		
陸上競技(男子)	(兼)国体選考会	トラック3位		
陸上競技(女子)		総合3位		
		トラック3位		
ソフトテニス	新人大会	優勝	出場	

◆個人成績◆

部活動名	大会名	氏名		種目	地区大会	県大会	九州大会	
水泳部	春季選抜選手権大会	2年3組	岡山 颯葵	女子50m自由形		第2位		
				女子100m自由形		第2位		
	女子50m自由形			第3位				
	女子100m自由形			第4位				
	インターハイ予選	2年3組	岡山 颯葵	女子50m自由形		第3位	第7位	
				女子100m自由形		第4位	第10位	
新人大会	2年3組	岡山 颯葵	女子50m自由形		第3位	第4位		
			女子100mバタフライ 対県リレー		第5位	第6位		
陸上競技部 (男子)	インターハイ予選	3年4組	押方 寛都	400mH	優勝	第4位	第8位	
				110mH	第2位	出場		
		3年4組	石坂 仁	100m	優勝	第7位		
				200m	優勝			
		3年4組	治部田 匠	3000mSC	第3位	出場		
		3年4組	新原 大輝	5000m	第2位			
				1500m	第3位	第12位		
		3-1 吉川 那祥 2-2 田中 皓介 3-4 押方 寛都 3-4 石坂 仁	4×100mリレー	優勝				
		2-4 渡辺 風雅 3-1 横 貴博 3-4 押方 寛都 3-4 石橋 武竜	4×400mリレー	第3位	出場			
		2年5組	工藤 裕雅	走高跳	第3位			
	福岡県高校学年別大会 兼 国体選考会	3年4組	石坂 仁	100m	優勝	第3位		
				200m	優勝	出場		
		3年4組	押方 寛都	400mH	優勝	第3位		
				110mJH	第2位	出場		
		3年4組	新原 大輝	1500m	第2位	第4位		
				800m	第3位	第4位		
		3年4組	治部田 匠	3000mSC	第2位			
		3年4組	石橋 武竜	200m	第3位			
				400m	第3位			
		3-1 吉川 那祥 2-2 田中 皓介 3-4 押方 寛都 3-4 石坂 仁	4×100mリレー	優勝				
	2年5組	工藤 裕雅	走高跳	第2位				
	新人選手権大会	2年5組	工藤 裕雅	男子100mH	第2位	出場		
				男子走高跳	第3位			
		2年2組	田中 皓介	男子100m	第3位			
				男子200m	第3位			
		2-4 渡辺 風雅 2-1 飯野 広武 2-5 工藤 裕雅 2-2 田中 皓介	4×100mリレー	第2位				
	陸上競技部 (女子)	インターハイ予選	3年2組	林田有希菜	3000m	優勝		
					800m	第2位	第7位	
1500m					第3位	出場		
3年3組			松尾 萌花	100m	第2位			
				走高跳	第2位	第11位		
1年2組		谷口 そら	走高跳	第3位	出場			
福岡県高校学年別大会 兼 国体選考会		3年3組	松尾 萌花	走高跳	優勝	第8位		
				女子100m	第2位	出場		
		1年2組	谷口 そら	走高跳	優勝			
				800m	第3位	第6位		
		3年2組	林田有希菜	1500m	第3位			
	4-3 西川 真央 2-2 村田 実来 1-2 福田 菜由 3-2 林田有希菜			4×400mリレー	第3位	出場		
3年1組	釜崎 涼那	砲丸投	第3位					

◆個人成績◆

部活動名	大会名	氏名	種目	地区大会	県大会	九州大会
陸上競技 (女子)	新人陸上競技大会	2年2組	村田 実来	800m	第3位	出場
		1年2組	谷口 そら	走高跳	第2位	
剣道 (男子)	新人大会	2年1組	藤井 佳斗		第9位	
弓道 (男子)	九州大会予選 インターハイ予選	3年2組	佐伯 叡二			
		2年4組	小林 孝亮			
	福岡県高等学校 弓道競技新人大会	2年5組	小川 晃央	優勝		
	飯塚市長杯争奪 近県弓道大会	1年4組	月守 一路	優勝		
弓道 (女子)	九州大会予選 インターハイ予選	2年2組	野口 彩花			
		2年3組	下村 春菜			
		2年4組	村竹 蒼海	優勝		
	福岡県高等学校 弓道競技新人大会	2年2組	野口 彩花	第3位		
		2年3組	荒木 薫心	個人権		
		2年3組	西村 遥斗	60kg級	第3位	
柔道 (男子)	九州大会予選 インターハイ予選	3年4組	西村 遥斗	60kg級	第3位	
		3年5組	石橋 幹太	100kg超級	第3位	
	柔道選手権大会	1年4組	中前 双樹		第3位	
柔道 (女子)	九州大会予選 インターハイ予選	2年5組	兵頭優里菜	優勝		
		3年2組	藤田 有希	第2位		
		2年3組	浦野 凜	優勝	ベスト8	
	新人大会	2年4組	兵頭優里菜	第2位		
		2年5組	兵頭優里菜	第1位		
		2年3組	浦野 凜	第2位		
ソフト テニス部 (男子)	九州大会予選 インターハイ予選	2-4 本松 渉 3-4 梶見 耕作 ペア		準優勝	出場	
ソフト テニス (女子)	新人大会	2-3 渡邊 結香 2-3 江里 瑚晴 ペア			ベスト8	
		1-5 西塚 百香 1-3 豊田 朋花 ペア				
吹奏楽	高文連筑豊地区音楽祭	2年5組	酒井 夏摩	器楽管弦部門	入賞	出場
	高文連筑豊地区音楽祭	2年5組	酒井 夏摩	器楽管弦部門	入賞	優秀賞
写真部	全九州高等学校 総合文化祭	3年4組	向野 修平			佳作
	高文連福岡県 総合文化祭	2年4組	森園ひなた		入賞	大賞
		3年5組	向野 修平		入賞	出場
美術	高文連地区大会	2年3組	釣井 百香	ポスター部門	最優秀賞	全国大会 推薦
		2年3組	川波 里奈	ポスター部門	最優秀賞	
		2年3組	譲田 真奈	キャッチコピー部門	最優秀賞	
	高文連第30回 えはがきコンクール	1年2組	小島 サラ		佳作	
		1年2組	藤井 円葵		入選	
		1年4組	石田 賀琳		入選	
		2年3組	譲田 真奈		入選	
書道	高文連福岡県 総合文化祭	2年4組	大和 恭子	臨書	入賞	出場
自然科学 同好会	高文連福岡県 総合文化祭	2-5 渡辺亜矢乃 2-5 本山 運華		自然科学部門		優秀賞
		2-4 村井 日和 1-3 吉峯 雅人				



「記憶に残る49回生」

高校49回生 1組担任
旭 豊彦

令和2年度陵江会総会の開催、誠にありがとうございます。また、49回生の皆さん準備から企画・運営までご苦労様です。さて、私にとっての49回生は大変思い入れのある学年です。体育コース（9期生）でクラス担任として3巡目であり、一番脂ののった時期でもありました。今までの体育コースの中で最高のクラスを作りたいと考えていました。一人一人が「挑戦」をテーマに頑張っていたことを思い出します。

くしくも、今年はオリンピックイヤーで東京を中心に盛り上がっているところですが、当時はアトランタオリンピックで盛り上がっていました。宮崎義伸君が見事に水泳（平泳ぎ）で出場を果たし、男子バレー部の牧幸伸君は全日本ユース（U-17）に選出されるなど1クラスから世界に羽ばたく人材が輩出されました。その他にも全国大会や九州大会出場など直方高校の名があらゆる競技で全国に刻まれました。その高校時代の経験が現在も生かされ卒業後は、各分野で世界を視野に入れて活躍している人が多いと聞いています。本当に素晴らしい生徒諸君に出会えて誇りに思いますし感謝しかありません。私自身もこのクラスによって大きく成長させていただきました。「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」人間の持っている可能性は本当に未知である。特に高校生はあきらめず何事にもチャレンジしていく精神こそが必要であるということ。

また、その他のクラスにおいても本当に素直な生徒が多く、ある日私がバレーの練習をしている時に、確か2組、3組の女子生徒が講堂（現：薫陶堂）の前に7、8人練習が終わるのを待っていました。「どうかしたか？」と聞くと、その生徒たちが「この前の学年集会の時に、ルーズソックスはもう絶対に履かないと先生と約束しました。それなのに今日、先生から私たちは注意を受けてしまいました。先生との約束を破ってすみませんでした」とわざわざ放課後学校へ戻り謝りに来たことがありました。本当は校則違反ですし悪いのですが、その素直さというか純粹さというか、微笑ましい光景を今でも忘れられません。次の日から「ルーズソックス軍団」と名付けました。元気にしていますかね。ルーズソックス軍団の皆さん。思い出は尽きませんがとにかく沢山の感動を残してくれた49回生。この学年がその後の私の教員人生に大きな影響を与えてくれました。

ありがとう49回生。感謝！感謝！感謝！

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。



直方高校49回生の思い出

高校49回生 2組担任
小長光 哲弘

令和2年度陵江会総会の開催、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。当番幹事の皆さん、準備から企画・運営までお疲れ様です。私は49回生に3学年のみ関わらせていただきました。3年2組、確か男子が19名、女子が25名のクラスだったと思います。

前年度、私は3学年に所属しており、「下の階の生徒は元気がよさそうだな、それと何あのぶかぶかのソックスは」と思っていたことを覚えています。その年の3月に「2年連続ですが、3年生の担任をお願いします。公務員や就職希望の生徒が多いクラスです。よろしくをお願いします」といわれて「あの元気の良い子達の担任か・大丈夫だろうか」と不安がよぎりました。その不安が最後は涙の別れになるとは・・・。

とにかく人懐こかった、朝のH・Rから「先生、先生あのね・・・」とまとわりついてくる。厳しい言葉で指導しても、次の日には笑顔満開で話しかけてくる、その一方でやるべきことはしっかりやるし、落ち着いて勉強したい人の邪魔などは絶対しない、見た目の派手さとは違って素直さ、優しさ、バランス感覚をもった素晴らしい生徒達でした。

榎本吏沙のチアリーダー・・・ブロックの色は忘れましたが、指揮台の後ろから見ていて本当に感動しました。あの時のチアは絶対に史上最高です。夏休みから練習場所を探して山田恵美と近くの小学校を訪ね歩いたことも鮮明に覚えています。

公務員希望の生徒に対する対策もみんなで頑張りました。前年度の反省を活かし、「裏技」なども伝授して日々努力をしました。全員合格とはいきませんでした。多数の合格者を出すことができ、自分としても少しは貢献できた、役立つことができたと思い、ほっとしたことを覚えています。

「なごり雪」の歌詞を書いたプリント・・・今も大事に持っています。卒業式、最後のHRでみんなで歌いましたね。いつのまにか君たちのことが大好きになり、君たちの素直さや明るさに引き込まれていった私は、別れのさみしさから歌詞が涙で見えなくなりました。

49回生の皆さんは、あれからどんな人生を送ってきましたか。きっと家庭で、職場で、地域で、社会で、責任ある立場に立って立派に成長していると思います。母親や父親となって、わが子が直方高校に通っているなんて人もいるかもしれません。高校時代に身につけたことを活かし、頑張ってもらいたいと思っています。

最後になりますが、直方高校の発展と、49回生の皆様の御多幸と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。



直方高校49回生の思い出

高校49回生 3組担任

田崎 廣子

2020年度陵江会総会開催おめでとうございます。当番幹事の皆さんは準備・企画・運営と長期に渡りお疲れ様です。

49回生の皆さん、卒業から23年になりますが元気にお過ごしですか。3組の皆さんを振り返る上で印象深いのは「49」という数字です。それは皆さんが49回生であることに加えてクラスの在籍者が49名の大所帯であったこと、当時の私の年齢が49歳で数字が三つも重なる偶然があったからです。

男子4名、女子45名で教室は縦横7列、49の机・椅子が隙間なく並び、他の教室に比べ空気が薄く感じられるほどでした。また掃除の時はそれらの移動にも手間がかかりましたね。住環境が不利な中、お互いを思いやり真面目に勉学に励む姿が懐かしく思い出されます。短大、専門学校また就職や大学志望者もいて、書類作成は多岐に渡り集中力を要した覚えがあります。前年度48回生を担当として送り出した後の新しいクラスとの出会いでしたので皆さんのことをよく知らず、短期間で49名を理解し進路対応ができるか不安もありました。皆さんの事情に詳しい副担任の(旧姓)大久保智子先生に支えていただきながら大事な時期を越えることができました。卒業式前日に遠賀川の河川敷で摘んだ菜の花を教室に飾りながら、皆さんと大久保先生に「ありがとう」の気持ちでいっぱいでした。

校歌にある「遠賀の流れ」と「福智の頂き」は直方高校の象徴です。図書館棟から眺めた嶺の圧倒的な迫力は目に焼き付いています。この大らかな自然の中で部活動や直高フェア、体育祭を経験し、それらを通して全力を尽くし協力し合っ一つになることの難しさや大切さを学び、思いやる心を培われたことは大きな宝物となり、今も皆さんの仕事や生活の中で生き続けていることと思っております。

最後になりますが、直方高校の更なる発展と49回生の皆様のご活躍をお祈り致します。



「思い出は美しすぎた！！」

高校49回生 4組担任

林 伸 治

2020年度陵江会総会の開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。また、49回生・当番幹事の皆さん、総会の企画・運営からあらゆる準備まで、本当にお疲れ様でした。

私は、皆さんが入学した平成6年4月に直方高校に赴任し、教師としての第一歩を踏み出しました。平成7年、皆さんが2年生になった時、初めてクラス担任となりました。そして、平成9年3月1日の卒業式、私にとって皆さんが初めての卒業生となりました。直方高校は、私が教師人生をスタートさせ、私を育ててくれた大切な学校であり、49回生の皆さんは、私にとって特別な卒業生です。皆さんが卒業して23年の歳月が過ぎましたが、楽しかったこと、嬉しかったこと、辛かったこと、苦しかったこと、いろいろなことがあったと思います。今回、寄稿文の依頼があり、私は皆さんとの思い出を振り返ってみました。

久しぶりに卒業アルバムに目を通し、学級日誌(私は2年・3年の学級日誌をすべて取ってあります)を読み返すこと、約2時間。当時は大変だったことや苦労したことが多くあったはずですが、しかし、思い出とは有りがたいもので、卒業アルバムで当時の先生方や1組から9組までの皆さんの写真を見て、楽しかったことばかりが蘇りました。2年生の時に始まった「直高フェア」では、2,000人を超える来場者を一生懸命おもてなししていましたね。修学旅行は中国。私のクラスは、異国の地で行方不明者が出て慌てました(行方不明になったのは、確か実行委員長の福田くんですよ)。3年生の時の体育祭、逞しい「エッサッサ」、ルーズソックス軍団のダンス、そして何より思い出深いのは、白ブロックの立体感あるスクリーン。あの作品は今までの教師生活の中でもNO. 1だと思っています。

そして、4組の皆さん、卒業式の日にした言葉を覚えていますか? 「みんなのことは忘れません」と言いました。今回改めて卒業アルバムの写真を見て、一人一人たくさんの思い出がありました。この紙面で書けないほどの多くの思い出です(とても書けないような内容の思い出もありますが、...)。

今度クラス会をする時は是非声を掛けてください。おもいきり思い出話に花を咲かせましょう。

最後になりましたが、49回生の皆さん、これからの人生にも辛いことや苦しいことがあると思います。しかし、それと同じくらい楽しいことや嬉しいことがあるはずですよ。家族や周りの人を大切にしながら進んで行ってください。皆さんのご多幸を心よりお祈りいたします。

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。



よくなる49回生

高校49回生 5組担任
山内 省二

陵江会總會のご開催おめでとうございます。

49回生は私の初担任初卒業生の皆さんです。卒業後も頻りに声を掛けてくれ、私にとっていつまでも生徒のままの本当に愛らしい存在です。よくもまあこんなでたらめな私を先生、先生といつまでも呼んでくれるので本当に恐縮しています。

皆さんとの出会いは私が教員2年目の春でした。当時教務主任の塩川秀敏先生が入学式で、「よくなる49回生!」と壇上で叫ばれていたのがつい昨日のようです。

文字通り右も左も分からない若造がいきなりの担任で、皆さんの学年に所属しました。先生らしい立派なことは何も出来ず、毎日毎日思いっきり好き放題やっていた3年間でした。百人一首の暗誦で苦しめられた一部の生徒さんは、未だに当時の苦痛が疼くらしく、今でも会う度に愚痴られます(笑)。作文指導の名の下で書かせた架空のラブレターを今でも保存していますが、先日、その一通をベトナムにいる女生徒に返却しました。ホーチミンから悲鳴のメールが送られてきました(笑)。「あしたのジョー」一気上映会なんてのもやりました。ラストシーンで「ジョー!」と泣き叫んでた生徒さんもいまではお母さんです。

本当に濃い生徒達に囲まれた毎日でした。バスを停めた女生徒がいました。車にはねられたにも関わらず無傷で助かった生徒もいました。びっくり市での無断バイトが見つかった生徒もいました。オリンピックに出場した水泳部の生徒もいました。中国修学旅行の際、万里の長城で行方不明になって怒られた生徒もいました。お父さんが福岡空港に墜落したガルーダ航空の飛行機に搭乗されていて、命からがら無事自宅に戻られほっとした生徒もいました。教室の何も無い片隅を指さしながら、「何かいる!何かいる!」と泣き叫ぶ生徒もいました。…挙げればキリが無い(以上はもう時効かなと思って暴露してます。関係者の方々ごめんなさい)。

49回生の皆さん!卒業後も様々な分野で大活躍されている49回生の皆さん!皆さんこそまさに「濃厚な直高生」です。

49回生の皆さん、オペラ&ジャズ歌手の野上さんのコンサートを毎年毎年企画・運営し続けてくれてありがとう。ついに直方市の公式ソングにまでなってしまいました。The BARで私が何気に課した皆さんへの宿題を、ここまで立派にこなしているのが嬉しくて嬉しくて仕方ありません。生徒会長の大神君、応援團の福田君始め、皆さんの団結力には頭が下がります。

ますます「よくなる49回生」でい続けてください。応援します。

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。



直高最高！

高校49回生 6組担任
水上 浩司

令和2年度陵江会総会が盛大に開催されますこと心よりお慶び申し上げます。また、会の開催にあたって当番幹事の皆様のご苦労とご尽力に感謝いたします。思い返せば49回生の皆さんと共に過ごした3年間は、私にとっても教師としての人生のスタートでした。初めての担任で戸惑うことやうまくいかないことで悩むことも多くありましたが、それでも明るく元気に接してくるクラスの生徒が支えだったことを思い出します。

中国への修学旅行は、海外を初めて経験する生徒がほとんどで、飛行機の搭乗手続きから現地のホテルでの過ごし方、観光地での飲食や買い物など、かなり気を遣うことも多く、日本に無事帰国するため、直高旅行団の団結力(?)が試されることになりました。そんな中でも北京の学校との国際交流や雑伎回鑑賞など記憶に残る楽しいかけがえのない思い出になっています。

3年時の直高フェアのクラス企画では、今では到底想像もつきませんが、なんとあろうことか、担任・副任が生徒に扮し制服を着用し、合唱に参加するというものだったと記憶しています。クラスの誰かさんがその奇想天外・教師泣かせ(?)の提案をしたのでしょうか。他のどの先生方も知らなかったはずで、驚きと可笑しさで会場がどよめいたのを覚えています。

文系6組は、素直で明るくはつらつ元気な生徒が多く、(時にパワーがあふれすぎて担任には手に負えないことも…)直方高校らしさをよく表してくれました。進路決定の時期には何度もだめ出しを受けながらも面接練習を繰り返し粘り強く取り組みましたね。合格発表があるたびにクラス皆で喜び合ったことが懐かしく感じられます。卒業が間近に迫ると、誰の発案なのか、クラスで形になるものを残す、という企画が立ち上がり、全員で3の6文集をつくることになりました。2月の自宅学習期間に有志が集い、原稿作り・印刷・とじ合わせ・製本作業を時間をかけ丁寧にを行いました。みなさん覚えていますか?(オレンジ色の表紙に緑色の綴じひも)実は私は今でも大切に職員室のロッカーに保管しています。教師になって初めて受け持つ卒業生なのです。これは一生代わりませんからね。皆さんと一緒に活動したことは有形無形問わず私にとって大きな財産となっています。

23年間という時はみなさんの人生にとってどんな時間だったのでしょうか。自分でも想定外ですが、実は令和元年度末現在、私はありがたくも今でも皆さんの母校で、後輩を相手に優しく!熱く!楽しく!勤務中です。20年も経つと変化することも多いですね。生徒数、クラス数、体育祭のブロック数(黄色ブロックは今ありません!)、コモンホールのじゅうたん、1組の教室の位置、食堂の場所とメニュー、スマホ持ち込み、教室の冷暖房、体育コース名称、英語コースの存在、体操服と体操帽、女子のカーディガン…。しかし、素直で優しく純朴な直高生の基本はまだまだ変わらず、脈々と文化、伝統、そしてDNAが受け継がれている気がします。以来多くの卒業クラス、卒業生を見送ってきましたが、その原点は皆さんと共に過ごしたあの時間、あの場所、あの自分にあると思っています。「筑豊の野」でみがいた魂を胸に、花のように気高く純粹で周囲に笑顔をもたらし、強い志をもって気丈にそびえ立つ人になって欲しいと思います。もう立派な社会人ですが、いつまでも教え子が気になるのが教師です。どうか同窓の絆と誇りを忘れず、これからもますます世のため人のために貢献してください。いつまでも応援しています。

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。



みんな素敵なお大人になっていることでしょう

高校49回生 7組担任
上村 浩朗

令和2年度陵江会総会の開催おめでとうございます。同時に49回生の皆さん当番生としての準備お疲れ様でした。

49回生の皆さんは、私にとって2度目の卒業生でした。3年7組の生徒は、一人一人、個性的で面白かった。気持ちも温かい生徒が多かったです。でも、みんなやる時はやる生徒で勉強も頑張っていて、体育祭も盛り上がっていましたね。連絡を受けて、久しぶりにアルバムをめくると、その当手を懐かしく思い出しました。アルバムに挟んでいたみんなからのメッセージの中に、先生の長男のことがたくさん書いてありました。そうか、まだ若い当時は、生まれたばかりの子供の話をしていただけだと思いました。覚えていますか？卒業した後、何人かでカラフルな髪の色に変身して、先生の家まで来てくれたことがありましたね。ある意味ビックリ!!でも、嬉しかったですよ。年賀状で近況を教えてくれる卒業生もいますが、卒業後の様子も聞きたいなと思っています。

直方高校は部活動もいい思い出です。軟式野球部はポッポ保育園の横の公園でやっていたですね。監督として、うまく飛ばないノック(キャッチャーフライが上がりれば拍手もの)と、とてもわかりやすいサイン(でもサインミスはない)を駆使し、みんなと九州大会まで進んだことはいい思い出です。九州大会では強豪四日市高校に惨敗でしたが、試合前は相手の監督が、何故か無名の直方高校を警戒していたことを思い出しますよ(笑)。

応援団も頑張ってくれました。みんなの3年前応援団は結成されたのですよ。応援団の校歌の指揮の中には、直方の「N」とスカートの「白線」を取り入れているのです。応援団の人数も増え、堂々と指揮する姿を頼もしく見ていました。

それから先生達も仲が良かったですよ。歌ったり踊ったり…。学年全体も仲が良かったと思います。みんなどうしていますか？立派になっている必要はありません。素敵なお大人になった皆さんに会えることを楽しみにしています。

※この挨拶文は令和2年1月に寄稿いただいたものです。



49回生の思い出

高校49回生 8組担任
喜多村 道信

令和2年度陵江会総会開催おめでとうございます。準備を担当された当番期の皆さんお疲れ様でした。

私は、平成5年4月から平成21年3月まで、16年間直方高校でお世話になりました。49回生は、直方高校に赴任して2年目から3年間持ち上がりで担任をさせていただきました。あなた方が卒業されて、23年がたち42歳になられようとしているとは、時間が過ぎるのは早いものだなと思いました。卒業アルバムを見ると、私も若く(とは言っても37歳くらいですが)髪は黒々として、普通に長く七三に分けておりました。この原稿を書いているのは、令和2年1月です。折尾高校で勤務しており、3年生の担任をしています。還暦を迎えまして、この3月に退職します。

さて、「49回生の思い出」ですが、担任団は皆さんを49ersと愛称で呼んでいました。フォーティナイナーズと読みます。アメリカンフットボールで、San Francisco 49ersという強豪のプロチームがあり、それにちなんで付けた呼び名です。皆さんは、勢いがある元気がよく、気立てのいい生徒たちでした。私がこれまで経験した中でも、ベスト3に入る良いチームでした。君たちなら、もう一度担任をしてもいいかなと思います。2年次の中国修学旅行の引率も生徒たちへの心配事などまるでありませんでした。直高フェアや体育祭も立派にやり遂げてくれました。生徒の皆さんが素直で一生懸命なので、私も頑張れたなと思い返しているところです。特に1年5組、2年8組、3年8組だった皆さんお元気でしょうか。

あなた方が卒業した翌日、誰もいない3年生の教室で教卓に両手を付いて、生徒席を見ながらじっとたたずんでいた担任が目撃されています。私じゃありませんよ。しかし、その気持ちはよくわかりました。目撃された担任は、しばらく(数年間)からかわれていました。

最後になりますが、直方高校の発展と、49回生の皆さんのご多幸とご活躍を心よりお祈りいたします。



直方高校 49回生の皆さんへ

高校49回生 9組担任
吉田 裕二

2020年度陵江会総会の開催にあたり、心よりのお祝いを申し上げます。また当番幹事である49回生の皆さんのこれまでの準備や運営につきましては、本当にご苦労様です。

さて49回生の皆さんとの関わりはわずか1年間ではありましたが、非常にエネルギッシュな学年であったと感じております。前年度の3年生(48回生)の担任であった私としては、48回生とは違った学年の雰囲気にも戸惑うこともありましたが、有意義な1年間を過ごせたことを今では嬉しく思っています。

特に、3年生の英語コースを引き継ぐことに対しては、前任の先生が2年間築いてこられたクラスをどう卒業まで導いていくのかということが最大の課題でありましたので、プレッシャーもありました。当然のことながら生徒の学力や性格・気質も、ある意味前年の生徒とは全く違っていましたから、日々試行錯誤の連続でありました。しかし、生徒たちも戸惑いながら自分たちの進路に向かって日々励み、教員の指導に従ってくれたことは、私個人としては非常に助けとなり、励みにもなりました。本当に感謝です。卒業式での君たちの姿が今でも思い出されます。

卒業して、20数年が過ぎましたが、みなさん、どんな人生を送っているのでしょうか？おそらく皆が順風満帆な日々を送っているわけではないはずです。つらく苦しいときもあったはずですが、しながら、そんな時も乗り越えて今を生きていることでしょう。イギリスの劇作家シェイクスピアの作品の中で次のような言葉があります。「事象それ自体には幸・不幸の性格はない。それを決めるのは人間だ。」皆さんも40代になり、この意味がわかるのではないのでしょうか？これからも様々な人生経験を重ねていくこととなりますが、(難しいことではありますが)できるだけポジティブに考え、生活することができれば、有意義な人生になっていくのではないのでしょうか。共に頑張っていきましょう。

最後に49回生の皆さんと出会えたことに感謝しつつ、皆様の今後の活躍と直方高校のこれからの発展を心よりお祈りしております。

令和2年度 陵江会

◇ 陵江会総会記念講演 歴代講師 ◇

年度	講師	演題	
昭和44年	九大心療内科医	安松 昭道	ストレス時代の健康
昭和45年	評論家	藤沢 登正	生きる
昭和46年	未来学者	坂本 二郎	1970年代の生き方
昭和47年	京都府立大教授	西元 宗助	生きがいということ
昭和48年	九大名誉教授	小林 栄三郎	演題不明
昭和49年	九大教授	船津 孝行	物の見方
昭和50年	評論家	草柳 大蔵	成熟社会の条件
昭和51年	作家	佐藤 愛子	人生雑感
昭和52年	俳人	楠本 憲吉	味のある話
昭和53年	評論家	江藤 淳	明治の日本人より
昭和54年	作家	なだ いなだ	この頃考えること
昭和55年	作家	藤本 義一	男らしさ女らしさ
昭和56年	映画評論家	荻 昌弘	映像に何を求めるか
昭和57年	作曲家	神津 善行	僕の家庭教育
昭和58年	評論家	樋口 恵子	高齢化社会に向かって
昭和59年	評論家	竹村 健一	これからの日本人
昭和60年	NHK特別主幹	磯村 尚徳	ヨーロッパ旅行から帰って
昭和61年	NHKアナウンサー	鈴木 健二	暮らしの再発見
昭和62年	脚本家	ジェームス三木	ドラマと人間
昭和63年	国語学者	金田一 春彦	日本語の魅力
平成元年	評論家	益田 憲吉	二十一世紀に翔けて
平成2年	作家	立松 和平	私の文学浪漫
平成3年	放送タレント	三国 一郎	大正に生まれて昭和に生きて
平成4年	武田鉄矢の母	武田 イク	女として母として
平成5年	落語家	桂 小金治	人の心に花一輪
平成6年	俳優	小沢 昭一	明日のこころ
平成7年	作家	林 真理子	私が描いた女たち
平成8年	九州女子短期大学教授	君原 健二	私のマラソン人生
平成9年	ジャーナリスト	櫻井 よし子	今、日本が直面する内外の問題
平成10年	元プロ野球選手	大沢 啓二	大沢親分が斬る“人間賢いだけじゃダメなんだ!”
平成11年	俳優	八名 信夫	人生その時々を大切に
平成12年	レポーター	東海林 のり子	リポーターとして妻として母として
平成13年	タレント	ダニエル・カール	ダニエルのふるさと自慢
平成14年	能楽師	茂山 千五郎	狂言/萩大名
平成15年	落語家	三遊亭 歌之介	爆笑 元気が出る落語
平成16年	気の開発研究家	観月 環	「気」を生活に取り入れよう
平成17年	タレント	セニョール玉置	ものまねオンパレード
平成18年	教育評論家	義家 弘介	ヤンキー先生 直方で語る
平成19年	タレント	松居 一代	演題不明
平成20年	元プロ野球選手	古田 敦也	演題不明
平成21年	ガーデニングカウンセラー	岡井 路子	演題不明
平成22年	評論家	金 美齡	台湾を愛し、日本を愛する評論家
平成23年	推理作家	夏樹 静子	裁判とミステリー
平成24年	漫画家	倉田 真由美	くらたま流スッカリ生きる方法
平成25年	タレント	島田 洋七	楽しい人生の過ごし方～がばいばあちゃんの教え～
平成26年	前宮崎県知事	東国原 英夫	地域を元気に～どげんかせんといかん～
平成27年	ジャズ・シンガー	綾戸 智恵	めぐり逢う時 家族の絆
平成28年	タレント、女優	奈美 悦子	命を輝かせる為に今できること
平成29年	歯科医師	河原 英雄	「食べて」「喋って」「笑って」「若返り」
平成30年	戦場力メラン	渡部 陽一	世界からのメッセージ～命と愛と絆～
令和元年	元プロ野球選手	小久保 裕紀	「一瞬に生きる」
令和2年	お笑い芸人	レギュラー	レギュラーの知っておきたい介護の話!(講演中止)

◇ 同窓会会則・役員名簿 ◇

直方高女・直方高等学校同窓会役員名簿

(平成31年4月現在)

同窓会会則

- 第1条 本会は陵江会とよび、事務所を陵江会館におく。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を図り、教養の向上並びに母校発展のために積極的に協力することを目的とする。
- 第3条 本会は第2条の目的を達成するため、下の事業を行う。
 1. 会員名簿の発行
 2. 会報の発行
 3. その他必要な事項
- 第4条 本会は次の会員をもって組織する。
 1. 正会員本校卒業生(高女並びに専攻科、併中、高校)
 2. 客員本校現職員並びに旧職員
- 第5条 本会に下の役員をおく。
 会長 1名 副会長 若干名 常任理事 若干名
 常任幹事 若干名 幹事 各回から若干名
 会計 2名(1名は副会長の中から、他の1名は本校事務長とする。)
 会計監査 2名 顧問 若干名
- 第6条 役員の任務は次の通りである。
 会長は本会を代表して会務を総裁する。
 副会長は会長を補佐し、会長不在の場合はこれを代行する。
 常任幹事は緊急事項の審議運営に当たる。
 幹事は本部と会員の連絡を図り、本会の重要事項を審議する。
 書記は本会の事務をとり、記録を正確且つ完全に保管する。
 会計は本会の財務を統括し総会において報告する。
 会計監査は本会の会計財産を監査する。
 顧問は本会の発展に積極的に寄与する。
- 第7条 会長は別に定める選考委員会が同窓生中から推薦し総会において選任する。
 副会長は同窓会生中から会長が任命する。
 常任幹事は各回幹事の代表者とする。
 幹事は同窓各回の総意により推薦する。
 会計監査は常任幹事会において同窓生中から推薦する。
 顧問は現任校長、並びに本会の発展に功績のあった者を幹事会において推薦する。
- 第8条 役員の任期は3ヶ年とする。但し重任を妨げない。
- 第9条 本会に支部をおき、本部との密接な連絡を保つ。
 支部の役員及び組織は各支部の自主性において決める。
- 第10条 総会は本会の議決機関で毎年1回開き、会長が必要と認めた時は臨時総会を開くことができる。
 役員会は総会に次ぐ議決機関で、会長が必要と認めるとき随時開いて会務を協議し執行する。
 すべて議決は出席者の多数決でできる。
- 第11条 正会員となる者は、本校在学中、同窓会費として毎月基本金を納入し、卒業の際は入会金を納入する。
 基本金、入会金については、本校と協議の上、別に定めることとする。
- 第12条 規約の改正は総会において審議決定する。
- 第13条 本会は毎年4月1日から翌年3月31日までを年度とする。
- 第14条 この規約は昭和44年5月4日から施行する。

(役職)	(氏名)	(回生)
会長	上川 明	高校26
副会長	増田 和彦	高校34
関東支部長	梅田 茂	高校20
関西支部長	尾上 禮子	高女38
〃	松村美智子	高校16
〃	疎山 直喜	高校25
〃	窪田 雅一	高校26
〃	日高 和徳	高校26
〃	石部 一郎	高校27
〃	吉本 泰輔	高校28
〃	白石 博	高校30
〃	矢野 良一	高校42
〃	魚住 貞之	高校43
常任幹事	田中 亜紀	高校44
〃	岡本美知子	高女29
〃	多川 洋子	高女34
〃	石橋 良子	高校 3
〃	金丸 幸夫	高校 4
〃	森 一郎	高校 5
〃	香月 耕二	高校 6
〃	坂本 恒喜	高校 7
〃	飯塚 弓枝	高校 8
〃	石橋 義基	高校 9
〃	国府寺健二	高校10
〃	松村喜八郎	高校11
〃	川村 敏子	高校12
〃	佐藤洋之助	高校13
〃	安永 剛	高校14
〃	能塚 佑子	高校15
〃	其田 盛徳	高校16
〃	永富 和男	高校17
〃	和田佳代子	高校18
〃	向野志津絵	高校19
〃	香月 勉	高校20
〃	秋田 実	高校21
〃	渡辺 克也	高校22
〃	渡辺 幸一	高校23
〃	片村 毅	高校24
〃	下山 昭博	高校25
〃	小島 保	高校26
〃	洞石 隆裕	高校27
〃	香月 利幸	高校28
〃	宮近 博之	高校29
〃	堤 裕見子	高校30
〃	堀内 修史	高校31
〃	萩本 広房	高校32
〃	白石 慎二	高校33
〃	日比生哲也	高校34
〃	宇野 和明	高校35
〃	宮崎 浩次	高校36
〃	末吉 薫	高校37
〃	遠藤 幸男	高校38
〃	吉田 博司	高校39
〃	盛武 徹	高校40
〃	魚住 佳史	高校41
〃	中村田 猛	高校42
〃	丸石 亨	高校43
〃	田中 亜紀	高校44
〃	香月 潤	高校45
〃	柴田 大輔	高校46
〃	高島 将幸	高校47
〃	金城 陽介	高校48
〃	福田 誠	高校49
顧問	田中 浩子	高校31
〃	北村 一郎	
〃	末吉 薫	高校37
〃	末松 浩二	
〃	金丸 幸夫	高校 4
〃	飯塚 弓枝	高校 8
〃	永富 淳一	高校17
〃	板木 道代	高校35

昭和56年5月10日 一部改訂
 平成13年5月13日 一部改訂
 平成23年5月 8日 一部改訂

令和2年度 陵江会

株式会社 アイ・プラン	井手口司法士事務所	オブジェ	鞍手ジュニア 男子・女子バレーボール	さよう労務経営事務所	Switch On, Hair
IR,フレックス	(株)イトワツールリングシステム	トータルリンパセラピーオーリーブ	(株)倉成観光バス	沢田鉄工所	杉山建徳
医療法人 健明会 胃見胃腸内視鏡クリニック	井上司法士事務所	株式会社 オレンジホーム	くらなり農園	株式会社 さわかケアサービス	Coffee & Kitchen Sketchers
赤池郵便局	(株) 今永工務店	社会福祉法人 おんかの会 おんかの保育園	蔵KURA HOUSE (株)さかい家具	株式会社 山公地産	すしたか
あかま歯科クリニック	岩崎司法士事務所	hairmake GARDEN	ミスター グランツ	三升庵	Bar Stance
崎谷秀治・秋田集一	IMPACT	スナック オーネット	GRANDBELLS飯塚	株式会社 サンテック	株式会社 ストークスケア
アクアメッツスポーツクラブ	Vanilla.	学研ひまわり ピクスマイル教室	居酒屋ぐりんぐらす	株式会社 Walk With You ティサービス さんぽ道	ベスト保険
アクサ生命保険株式会社 井手誠也 様	ワインディング ヴィヴアーチェ	金沢石油株式会社	有限会社 粟田建設	社会福祉法人 三和会	スマイル・岡垣
スナック access	スナックWith	楽天ヘルシークリエーション	栗田 幸則 様	SEED(エス・ピー・ティ)	株式会社 スマイル保険サービス
天ぶらの携久	スナック ウインザー	髪床	有限会社 粟田製作所	権原設計事務所	すみだ整骨院
阿座上内科循環器科クリニック	(有)ウエキ・レースサービス	有限会社 からあげ屋	栗原工業株式会社	JA直轄	須山 由紀生 様
旭湖園設計株式会社	グループホームうくいす	カワセツ	居酒屋ぐりや	JIC九州株式会社・AIG保険	(株)スリーピースホーム
時の天国	内田製菓	茶道具 河面 河面 直人 様	clover	JCS	株式会社 Seika-えん
Asian Style	有限会社 宇野建築工房	口方永満寺簡易郵便局	黒崎播磨株式会社	堀川歯科医院	株式会社 清々舎
垂織垂産 株式会社	宇野歯科医院	浄土真宗願照寺 浄土真宗本願寺派布教使 柴田 弘司 様	森名林 菜	(有)しおり	聖福寺
有限会社 Aシスト松岡	海ぶどう	ケアプラン 桔梗	株式会社 桑村産菜	温厚化学学園	西部給食株式会社
株式会社 アスリード	株式会社 エー・アンド・シー	有限会社 菊栄工業	郵司島農園	からあげ&カレー焼き 次元	株式会社 西部システム・エンジニアリング
フランス料理 梓屋	auショップ 宮若	株式会社 如月園	ケア・サービス株式会社	石炭パン工房 自然屋	清和産菜
学校法人 麻生塾 麻生専門学校グループ	エクセレントガーデン迎賓館	(株)采島自動車	株式会社 KHBプレジジョン	志田街	関屋内科クリニック
株式会社 足立工作所	Eco Ship	ギタースナック 若	(有)景光園	有限会社シバタ	セトル株式会社
アミ/動物病院	S・Sポーター工業(株)	(有)北九州ユニット	ライジング迎賓館	スナック 西	セブンイレブン 宮若福丸店 若宮福田店
石門亭	有限会社 エス・エス商会	キミ美容室	元禄寿司	有限会社 渋谷皖工商事	セブンイレブン 赤池町店
株式会社 有明海苔	(株)JSCカンパニー	株式会社 キュウエイ	コインランドリー 貞姫	ジブラルタ生命保険株式会社	セブンイレブン 田川伊方店
医療法人 笠松会 吉有病院	蛭子屋合名会社	株式会社 九州ケース工業	(有)光栄電気商会	清水商会・小竹モーターズ	カットハウス セロ
HAIR MAKE ANGLE(アングル)	おでん屋えびす	九州産業株式会社	こうじゃく整骨院	スナック シャングリ・ラ	尊光会館 口方会場
スナック アンジュ	酒処 笑	株式会社 九州博通	香田農園	(株)修成工業	(株)ZO
スナック &(アンド)	有限会社 MKサポート	九州造園建設	香田工務店	有限会社 シュライン物流	創思園設計 株式会社
(株)飯塚塗装工業	MK.VALUE	株式会社 九州湖園設計	浄土真宗 光福寺	スナック ジュリア	有限会社 創建
いいの弘文堂	エムジーエレクトロニクス(株)	有限会社 協和企画	コージ亭	浄蓮寺保育園	染めものや帆
(有)飯野保険センター	株式会社 MT	協友果実	コクラヤ時計店	(株)城平パーズ商会	そらいろ食堂
飯野銘木店	(株)遠藤産産	現役専門予備校 仰星館	めがねのコクラヤ	宗教法人 照寿寺 鞍手泉苑	大國運送株式会社
イオハラ設備有限会社	スナック エンバイア	協和建設株式会社	スタジオ COCORO	浄福寺幼稚園	大功建設(株)
口方いこいの村	スナック エンペラー	きよみ美容室	小竹町役場 陵江会一同	浄福寺	株式会社 大同鉄工所
いしい歯科クリニック	大石本家	焼鳥 くいしんぼ	有限会社 コトブキ	株式会社 白石組	だいやめ処でく
ヘアサロン石津	大石塗装 株式会社	早野酒店	このみ珈琲	白石農園	合同会社 たいようの郷
石橋開発株式会社	大川プロパン(有)	スナック 孔雀	車検のコバック(有)第一自動車	有限会社 白川精機	太陽キッチン・フーズ有限会社
株式会社 石橋製作所	(株)大沢自動車	リフォームセンター クスマ株式会社	保険代理店 有限会社 こもり	白神精機	多賀神社
石橋康司司法士事務所	大谷金網工業株式会社	橋本建設	スナック サーバント	Snack シルバスター	鳳取学園
(有)石松建材店	大田技研	株式会社 中田系	サールナート(株)	SNACK シロー	鳳取公園
和泉の澤	(有)おおつか	宅配クックワン・ツフ・スリー	西徳寺幼稚園	株式会社 新栄	(有)たかはし葬祭 平成会館
いそべ整骨院	オートランナー	株式会社 クボイ	西徳寺	やき鳥 偲玄	鳳見工業有限会社
イグホーム	すなっく 渚台	鞍手町役場 陵江会	有限会社 酒井製作所	焼肉貞山	医療法人 福翠会 高山病院
樹	芹山歯科医院	くらで病院 口方高校卒業生有志一同	居酒屋 薩摩	新屋	多川 洋子 様
井手司法士事務所	尾畑農園	くらでガス株式会社	THE・BAR	株式会社 シンワ飯塚	田川三井郵便局

当番幹事謝辞 - 僕らの想い -

令和2年度陵江会総会実行委員会

実行委員長 福田 誠

去年あの日のことは忘れません…一つ上の先輩の総会を目で見、肌で感じ来場された同窓生の感謝の言葉に心から感銘を受け、私たち49回生の総会も同窓生に楽しんで頂ける「おもてなし」を目指したのが始まりでした。

私たち実行委員も10ヶ月一緒にやっていると不思議なものでチームワークも素晴らしく、名付けるとすると【ワンチーム】という表現がピッタリと当てはまるそんな仲間になりました。

「よっ!ラスト2ヶ月頑張ろう!!」とみんなの意識を高め、思い描いた目標に進む中、立ちばかったウィルスそして国家緊急事態宣言…私たちにはどうする事もできない事態なのと陵江会創立以来初の事例なのでマニュアルもなければ正解も分かりません。文書でも失礼のないよう細かくチェックし陵江会本部に確認の繰り返しの日々。作業も大人数での密集を避け、自宅での作業に切り替えるなど、実行委員には負担も多くそして精神的にも辛く、私自身も気が滅入る状況が続きました。

けれど今回のテーマ「燈～煌めく伝統の聖火～」が実行委員の心に燈火となり、お互いを励まし、助け合い最後の仕事まで諦めませんでした。

そう、先輩方が築いてきた伝統、これから先も続いていく伝統を無駄にしないため、私たちは課せられた「宿命」と向き合い、それを生かし後輩へバトンを渡すために…。協賛して下さった企業様そしてお店等につきましては大変ありがとうございました。お伺いの際に応援の声や世間話など楽しい時間を頂き励まされました。重ねて御礼申し上げます。

そして、この1年間支えて下さった年長幹事にあたる28回生の優しく時には熱いお言葉や一緒に過ごした日々を大事にします。最後まで気遣って頂き感謝の想いでいっぱいです。

【最後に49回生の想い】

私たち当番幹事49回生は令和2年度陵江会実行委員として、そして直方高校同窓生として恥じることなく一年間進んで参りました。このような結果になり49回生一同は非常に悔しく残念な気持ちでいっぱいです。

しかし、今まで費やした時間・先輩との繋がり・ご縁は私たちの誇りです。それを糧にこれからの人生に役立てたいと思います。

僕らの想い…届け!

奇跡じゃなくていい 美しくなくていい 生きがってやつが光輝くから

切れないバッテリーー魂の限り宿命ってやつを燃やして 暴れ出すだけなんだ

ただ宿命ってやつをかざして 立ち向かうだけなんだ (Official 髭男 dism ~宿命~)

たくみ 株式会社	(株)得居商店	49回生恩師	合資会社ファーム貞光	医療法人社団 正協会 水戸病院	株式会社 友賢会
農家の食卓 take	豊浦湖園事務所	江上会(EGAMIKA)49回生	加圧トレーニングlive-up	(有)緑産菓	友栄土木株式会社
武内自動車	トヨタカラー博多 直方店	48回生 男子バレーボール部一同	レストランバー フィガロ	みどりスポーツ	有限会社 石泉留工
武田きょうすけ歯科	株式会社トラベルハート イオンモール直方店	直方高校バレーボール部 49回生一同	BOOTH SOUND SYSTEM	株式会社 皆川工務店	ユー・ツール
株式会社 タケマツ環境	鳥松	直方高校男子バレー部50回生	福岡県高齢者ふくし生協 直方事業所	三原豆腐店	株式会社 勇典
株式会社 竹松組	Trend	Yumingo Jazz Live	株式会社 福岡九州クボタ (遠賀川営業所)	酒処 都	居酒屋 ゆたか
有限会社 田代電気商会	株式会社 内藤鍛造所	株式会社 野上賢菊場	福岡金属工業株式会社	宮崎建設	吉田文具店
田代医院	ナイトイン ジュリーの部屋	(株)野島製作所	株式会社 福岡ハーベスト	宮崎板金	吉田運送株式会社
田代パン	中泉郵便局	のだ歯科・小児歯科医院	福岡車輛	宮田建工(株)	肉の吉本
株式会社 タス整備	中川酒店	野村自動車	東和機電工業株式会社	みやはら凸店	鉄売センター直方・鞍手
田底鉄工所	有限会社 中田薬炉工業	BAR? 1st.	(株)福田菓務店	株式会社MIYABI	有限会社 ライフジャパン
七輪焼き屋	中田建設(有)	Bar ease	有限会社福の里	オートクチュール ミヤモト	ライフパートナー株式会社
伊達鮮魚店	中田プロパン(有)	株式会社 HARBEST	九州女子大学 九州女子短期大学	宮若市役所 障江会	Live Ra Beauty Brain
学生服のタナカ	中田ホームズ有限会社	ハーレー 動物病院	福原内科・脳神経内科クリニック	若宮司四太鼓	アメリカン雑貨LAX
田中電気	株式会社NAGATOMI	博多屋菓子舖	藤井精工株式会社	小さな版画の美術館 三輪	リアン
田中産婦人科クリニック	中間市役所 障江会一同	創作料理 はぎの家	フジキ印刷株式会社	総合建設業 夢創	スナック リール
谷電工	中間トニー住居株式会社	株式会社はせがわ	(有)藤田組	ご馳走屋 むつごろう	リコージャパン株式会社
谷芥石油株式会社	有限会社 なかむら薬局	八幡神社	藤田歯科医院	(株)村井	株式会社 リビングデザイン
(株)旅ランド	(有)中山商店	スナック 亜	酒肴楽酒 ふじ田	(有)村本建具製作所	障江会展
(株)玉置	合資会社 中山建材店	(有)バナックス カトー	扶桑興産 株式会社	明元寺	関東障江会
玉手箱	ナショナル ヨシムラ	はな公園	有限会社 二股組	明幸学園	関西障江会
株式会社タマテック	なのはな畑	花のれん	船田商店	明治安田生命 直方営業所	福岡障江会
近津神社	橋水閣	有限会社 花の花村	プラザホテル直方	明峰学園	障江会本部役員(12名)
(有)筑前屋	寿司懐石 搜手家	株式会社 英建設	ヘアサロンエキソティカ	トータルカーショップ メカ ドック	スナック 凧
筑前庵	医療法人 一寿会 西尾病院	(有)はなまさ	株式会社 平和電業社	スナック メルシー	リンク中央
筑豊スズキ(株)	株式会社 ニシゲン	花まつり	株式会社 ベルホール鈴木	株式会社 もち吉	LECIEL(ルシエル)
筑豊日通プロパン株式会社	株式会社 西日本油機	(株)林フォージング	パンの店ベルン	(有)森の母屋	スナック れいか
株式会社筑豊産業	(株)ニシウテクノス	お好み焼き はる	本門佛立宗 久道山 法鳳寺	やきとり居酒屋 魁	釘板地藏尊 靈験寺
CHI CHI YA	日新交易(株)	春田ぶどう園	法尚建設	安川行政士事務所	REP'S
長遠寺	ネットトヨタ 北九州株式会社	atelier Bambee	社会福祉法人 賢徳会	ヤタニ	ローソン宗像日の里5丁目店
ちよつくらじお	NOA	ピークスペース	テイサービス ほおずき	医療法人社団 藤会 八幡厚生病院	株式会社 ローレル
かみ道楽	直方駅前法律事務所	スナック ピエロ	ホテル ニューホープ	株式会社 やま利	ラウンジ六本木
ちろる	直方・鞍手消防本部卒業生一同	光ルーフ	BoñCafè de chelseã	(株)山岡	Y-craft
Dia more	直方工業 株式会社	ビクトリー総合保険株式会社	株式会社 松村塗料商事	山口精肉店	株式会社 ワイズ
T's kitchen	(有)直方興祭 直方畜場	ひしや染物店	スナック まのん	山田輝樹本舗	わがまま倶楽部
DCエンジニアリング	直方市役所 障江会一同	毘沙門天	member's Marie	(株)ヤマトジャパン	わたなべ歯科医院
テクノエフアンドシー株式会社 ミサワホーム福岡工場	株式会社 直方水道修繕センター	有限会社 日高印刷所	丸龜観光バス(株)	農業生産法人(株)ヤマニフ アーム	有限会社 和田屋
株式会社 テコレ	有限会社 直方メティカルサービス	ひまわりタクシー	(有)丸豊製作所	山本自動車	snack waffle
てふてふ	直方市消防本部	カラオケ処 ひょうたん	丸窓	山本不動産	Snack ONE
カクテルスナック テル	株式会社 直方自動車学校	平尾行政士事務所	(株)まるまんフィオーレ	お茶の山本園 山のおちややさん	ワンネス整体
テルミ美容室	直方畑野郵便局	有限会社 平田鉄工所	有限会社 マルヨ	山本農園	特定非営利活動法人わんぱく ハウス
でんきのワイズ(チェーン本部)	直方高校28回生	ひろはし	マンマ ミア	焼鳥 ゆい円	
東京経済協同組合	一会	ご馳走屋 満万	株式会社 水原組		
東天虹	直方高校49回生一同	日若スタジオ	みつや商店合資会社		

御協賛ありがとうございます！

編集後記

実行委員として活動する中で、年長幹事の先輩からアドバイスを受け、先輩方の繋がりのおかげで、晴らしさを肌身に感じながら直方高校の歴史の重みを改めて知ることができました。

この冊子を作成するにあたって、まず恩師の連絡先を探るところから始めました。最初は戸惑いましたが、恩師に寄稿のお願いをすると、皆さん快諾していただきました。「先生方の当時の思い出話」はぜひお読み頂きたいものとなりました。一瞬で学生時代に戻してくれます。私達は良い恩師に恵まれたなと愛情を感じました。

今回、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、例年通りの集会形式での総会・懇親会を開催することは断念せざるを得ませんでした。

上川陵江会会長をはじめ、年長幹事である28回生の先輩方にアドバイスしていただきながら、実行委員の仲間で支え合い、1年かけて準備を重ねてきました。まさに苦渋の決断であり、「悔しい、残念」という一言では表現できません。歴代の当番幹事の先輩方が味わったゴールの先の「達成感」を私達49回生は味わうことができませんでした。

私達は先輩方を「おもてなし」するため、「笑顔で過ごしていただくため」準備をしてきました。先輩方の「笑顔」を直接拝見することはできませんでしたが、今までやってきた準備や会議は記録として残したいと思い、冊子に私達の「思い」を込めることにしました。

例年と冊子の内容が異なりますが、どうぞご容赦ください。

また、総会のために協賛広告や寄付にご協力いただいた皆様には心よりお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息時期は不透明ではありますが、厳しい状況の時こそ、全ての人々が一致団結し、一日も早く平穏な日常が送れるように切に願っております。

最後になりましたが、編集につきましては最善を尽くしてきましたが、不備がございましたら何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

令和2年度 陵江会総会実行委員会一同

令和2年度当番幹事

28回生(昭和51年卒)

49回生(平成9年卒)

50回生(令和10年卒)

発行日
2020年6月1日

発行
福岡県立直方高女・直方高校同窓会
陵江会



～煌めく伝統の聖火～

感謝

令和2年度
陵江会実行委員会



A grid of 24 individual portraits of the committee members, arranged in four rows of six. The portraits are set against a background of a building and trees.

